

ごみ問題

問 アンケート調査事項の内容は

答 内容は住民投票に近いものに



宮尾幸典議員

【ごみ処理施設問題】

**問** 委託する専門調査機関について伺います。

**村長** 「長野県世論調査協会」で、信濃毎日新聞を

代表者とし、県下の自治体、報道機関、金融機関等113企業・団体で構成され、一般的な世論調査、市町村合併の住民アンケート調査等、世論調査を専門的に手がけている機関です。

**問** 調査事項の内容については「住民投票に近い簡略な内容にすべきである」という意見を載っていますが。



地域高規格道路長野県側ルート案の説明

**村長** 極力曖昧さを排除し、候補地についての賛否の度合いを問うもので、極めて住民投票に近いものになるものと思っています。

**問** 公表の時期は、いつごろを予定していますか。

**村長** 集計、解析を経て、2月の下旬には公表出来るものと考えています。

**問** 大町市の最終処分場は、整備に15億ほど要したと聞いていますが、仮に白馬山麓環境施設組合（白馬村・小谷村）が最終処分場を

計画したとした場合、可能性はあるのでしょうか。

**村長** 最終処分場は、焼却施設と同等、又は、それ以上立地条件等の厳しい施設であると理解しており、組合単独で設置することは、非常に難しいと考えています。

**問** ごみ中継施設については。

**村長** この地域（白馬村・小谷村）で考えられているごみ中継施設では、整備に6億円程度、年間の維持費に5千600万円程度必要と試算されております。また、東京都杉並区の中継施設で発生した健康被害、いわゆる「杉並病」のような問題、臭いの問題等弊害の発生を懸念しています。

【地域高規格道路問題】

**問** 「地域高規格道路―松本・糸魚川連絡道路」の整備に合わせ、村の自然環境にあった企業誘致条例を制定の上、企業誘致による産業構造の転換を図る考えはありませんか。

**村長** 「地域高規格道路―松本・糸魚川連絡道路」の整備に合わせ、村の自然環境にあった企業誘致条例を制定の上、企業誘致による産業構造の転換を図る考えはありませんか。

**村長** 新たな雇用対策のための企業誘致につきま

しては、村の活性化のために重要なことであり、地域高規格道路に大きく期待するところですが、村のどこを通るのか全く分からない現段階では、白紙の状態です。

【高校再編問題】

**問** 県は今後、地域の少子化により、新たな再編基準に満たない学校は、地域キャンパス化、いわゆる分校化を検討するとありますが。

**村長** 12月に示される予定の県教育委員会の具体的な再編計画案を受けて、白馬高校がキャンパス化にならないための具体的な魅力づくりを検討していく方針です。なお、旧第12通学区の専門委員会から、「白馬高校については、将来地域キャンパスの検討を」という意見を戴いては早計であり、懇談会の最終的な提言書からは削除してあります。